まちづくりマッチングシステム実績

〇武蔵野市

課題:三鷹駅北口周辺エリアの街づくりに向けた検討

背景と課題:三鷹駅北口周辺エリアでは、三鷹駅北口街づくりビジョン(平成29

年5月)に基づき、「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指して取組みを進めている。また、令和6年3月には、三鷹駅北口交通環境基本方針を定め、主に交通環境の視点で課題とその解決のための方針をまとめている。今後、目指すべき街の姿の実現に向け、実現性の観点で、様々な施策の検討の深度化を図る。

募集するソリューション: (1) 三鷹駅北口周辺のまちづくり推進のため、まちのにぎわい創出 につながる仕掛けづくりを考えたい。特に、道路管理者が管理 する壁面を活用した景観づくりについて、参考事例や、実現に あたって必要なステップ(手続きや協議先、調整事項等)や留 意点等について知りたい。

(2) 道路管理者が管理するベンチに広告等を設置することで、広告収入により維持管理している成功事例や実現する方法について知りたい。

マッチング先:公益財団法人東京都都市づくり公社

提案内容(解決の方向性):(1)地元アーティストによるアートプロジェクトや、民間企業による公告×アートとしてのプロモーション活用事例などを参考に、 壁面活用における官民連携施策を具体化していく。

> (2) 「自治体によるベンチ設置」と「道路占用物での広告活用」の 2つの観点を掛け合わせて、パートナー事業・スポンサー制度 の広告事例を参考に、広告収入により維持・運用を行えるベン チ設置について検討していく。



〇武蔵野市

課 題:三鷹駅北口周辺エリアの街づくりに向けた検討

背景と課題:三鷹駅北口周辺エリアでは、三鷹駅北口街づくりビジョン(平成29

年5月)に基づき、「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指して取組みを進めている。また、令和6年3月には、三鷹駅北口交通環境基本方針を定め、主に交通環境の視点で課題とその解決のための方針をまとめている。今後、目指すべき街の姿の実現に向け、実現性の観点で、様々な施策の検討の深度化を図る。

募集するソリューション:駅前広場の計画案を検討するにあたり、当該駅前広場を利用してい

る人(特に自動車)がどの地域から来ているかを分析し、交通体系

の変更も含めた将来像の検討に活かしたい。

そのため、ビックデータ等を使って得られる情報やその活用など有

効な手法について知りたい。

マッチング先:一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム

提案内容(解決の方向性):武蔵野市を実証フィールドとすることでビジネスメリットが生じる

事業者・団体の紹介サービス等を活用し、適切なアドバイザーを探

した上で、検討を進める。



まちづくりマッチングシステム実績

〇日の出町

課 題:日の出団地建築協定に関して

背景と課題:約50年前に作成された当建築協定は、現在の当該団地を取り巻く

環境や年齢構成に合ってないため建築協定の変更を検討したものの、変更には建築基準法第74条による土地所有者等全員の合意が必要であることから事実上、全区画での変更は不可能である。

募集するソリューション:令和6年地方分権改革に関する提案募集に全員同意の緩和について

法改正の提案をしているが、ハードルが高いと考えられる。

建築協定の変更に向けて法的観点・制度的観点といった専門知見を 踏まえ総合的に今後の方向性についてご助言をいただきたい。

マッチング先:一般社団法人団地再生支援協会

提案内容(解決の方向性):提示課題解決に向けては、技術的には、複数、目的を達成する手段

があると考える。団地の再生に関しては、技術的方策に先立ち、まずは、日の出団地が抱える「空き家問題」「高齢化問題」などの諸課題を整理し、まずこれらの解決に向けた検討を先行して進めること

が効果的。



〇日の出町

課 題:日の出町三吉野場末地区の土地利用について

背 景 と 課 題:平成22年度に策定した都市計画マスタープランでは、三吉野場末

地区を生活福祉支援地域と位置づけ区画整理事業により市街化区域に編入する予定であったが、現在ではまちづくりの動きも少ない。 地区内には福祉施設が2施設点在しており、また、圏央道で区域が分断されており、一体的な面整備も難しい状況である。こうした状況の中、目指すべき新たな土地利用の検討を行っていく必要がある。

募集するソリューション:現在、福祉施設等で概ね5割の土地利用が図られている状況であり、 残りの区域での区画整理事業の可能性も含め土地利用検討の方向

性についてご助言をいただきたい。

マッチング先:東京海上日動火災保険株式会社

提案内容(解決の方向性):土地区画整理の実施に際して、土地区画整理事業の可能性調査等を

進めていく必要が考えられる。また、方向性としては、いくつかステップがあるが、例えば、事業手法及び施工地区の検討等が挙げられる。



〇日の出町

課 題:日の出町三吉野清坊地区の土地利用について

背 景 と 課 題:従前から、当地区の市街化調整区域のうち大半が農地であった

が、現在、調整区域の無指定地区であることから建築物以外の用途に転用されるケースがあり今後スプロール化が徐々に進行する

懸念がある。

当地区は日の出ICにも近くこの利便性を活かしきれていない状

況でもある。

募集するソリューション:将来に向けて市街化区域編入、田園住居地域の指定及び地区計画

の策定など視野に入れて研究をしているが、専門的な観点から、

今後の方向性についてご助言をいただきたい。

マッチング先:株式会社JTB

提案内容(解決の方向性):清坊地区の利便性を活かすために観光周遊の玄関口として観光の

観点から、まちづくり・拠点整備に観光部門とともに取り組む。 また、農業を軸とした土地活用を見据え事例調査・実施手順検討

を進めていく。

